



受付第04A1384号
 受付日：平成16年 8月19日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成16年10月29日

財団法人 建材試験センター
 中央試験所長 勝野中幸
 埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ミニビルトコーナー 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：厚さ1mmの鋼板を折り曲げ加工したもの (41×30×23mm, 図-3参照) 材質：SUS304 (JIS G 4305)</p> <p>2. 接合具 柱側木ねじ：3#角ビット皿スクリュー φ5.5×45, 柱側2本 呼び長さ：45mm, ねじ部の長さ：39mm, ねじ部の外径：5.45mm, 谷の径：3.35mm, ねじ山のピッチ：3.15mm, ねじ先の形状：とがり先 材質：SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり, 下記の化学成分を満足する。 C (0.18~0.23%), Si (0.10%以下), Mn (0.70~1.00%) P (0.030%以下), S (0.035%以下), Al (0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズ処理 横架材側木ねじ：3#角ビット皿スクリュー φ5.5×75, 横架材側2本 呼び長さ：75mm, ねじ部の長さ：55mm, ねじ部の外径：5.45mm, 谷の径：3.35mm, ねじ山のピッチ：3.15mm, ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH18A (JIS G 3539), 表面処理：セラミックコーティング処理</p> <p>3. 使用軸組等 柱：樹種：すぎ, 寸法：105×105mm, 横架材：樹種：すぎ, 寸法：105×105mm 床合板：構造用合板 (JAS特類1級), 厚さ：33mm</p> <p>4. 試験体数 7体 (うち1体は予備試験体) 参照：図-1~図-3 (試験体の形状・寸法)</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>短期基準引張耐力 (Pot) : 4.2 kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6</p>
備考	当該試験結果から, 厚さ33mmの床合板を介した柱-横架材の接合部に使用する「ミニビルトコーナー」は, 必要耐力3.4kN (長ほぞ差し込み栓打, L字形かど金物くぎCN65×10本) 以上であることが明らかとなったため, 平成12年建設省告示1460号表三(ろ)に定める接合方法の性能を満足する。
試験期間	平成16年 8月31日 ~ 9月 1日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃, 渡辺 一
試験場所	中央試験所